

平成24年4月26日（木） 県政記者クラブ配布資料		
所 属	担 当	連絡先
ぎふ清流国体推進局	競技式典課 課長補佐 小島光則	058-272-8198（直通） 内線2955

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会炬火リレーについて

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会炬火リレー」の概要と炬火リレーで使用する用具等について、お知らせします。

記

1 炬火リレーについて

(1) 目的

「輝け はばたけ だれもが主役」の合言葉のもと、県民総参加により炬火リレーを実施し、県民の一体感醸成や、両大会の開催に向けた機運の盛り上げを図ります。

(2) リレー日程

■リレー期間

7月16日（月・祝）～9月12日（水）（市町村別日程は別添のとおり）

■採火

7月16日（月・祝）に乗鞍岳畳平（高山市）で太陽光集光方式により採火。

■到着

9月12日（水）（水泳競技会（岐阜市・大垣市で開催）前日）に岐阜市へ到着。

(3) リレー概要（※）

■リレー方法

採火地（乗鞍岳）から到着地（岐阜市）まで、走者と自動車により県内全市町村を一筆書きでつなぐ。

■リレー距離

総リレー距離は約1,560km。うち、382km・481区間を走者によりつなぐ。

■リレー走者数

約4,810名（1区間10名×481区間）

※詳細については、今後市町村等関係機関と調整のうえ、決定していきます。

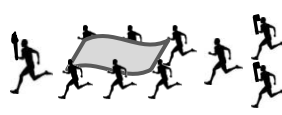
<参考> 走者リレー隊編成図



連絡・広報車



先導車



リレー走者 10名



本部車



救護車

(4) 走者の選定

各市町村で一般公募や団体推薦などにより選定します。

2 炬火用具（炬火トーチ・炬火受皿）について

(1) 炬火トーチ

炬火リレーにおいて、炬火を運ぶためのトーチを、県内高校生のデザインをもとに製作しました。

■経緯

県立岐阜工業高等学校デザイン工学科の生徒から、「清流」をイメージしたデザインの提案があり、2名のデザインを採用。

■デザイン作成者

まつだ ももか
松田 桃果さん（県立岐阜工業高等学校2年）

もりしま あやか
森島 彩加さん（県立岐阜工業高等学校2年）

■サイズ等

長さ76cm、アルミ製



炬火トーチ

(2) 炬火受皿

炬火リレーにおいて、採火式や市町村歓迎式などで炬火を灯す受皿を、県内高校生のデザインをもとに製作しました。

■経緯

県立多治見工業高等学校デザイン科の生徒から、「清流」をイメージしたデザインの提案を受け、1名のデザインを採用し、同校において製作しました。

■デザイン作成者

かかむ ゆめ
各務 夢さん（県立多治見工業高等学校2年）

■サイズ等

高さ45cm、幅26cm、陶器製



炬火受皿

3 炬火台の新設

(1) 設置箇所

岐阜メモリアルセンター 長良川競技場南側スタンド

(2) 規模構造

- ・炬火台 鉄筋コンクリート造 高さ約10m、幅約6m
- ・炬火台までの階段の装飾は、岐阜県産間伐材を活用

(3) 炬火台完成時期

平成24年8月中旬

(4) デザインコンセプト

- ・炬火台のデザインは鳳凰を表現しており、鳳凰と火（炬火）の組み合わせは「復活」のシンボルでもある「火の鳥」を連想させ、「震災からの復興」、「日本再生」のメッセージとなります。
- ・炬火台の3本の柱は、太平洋側、日本海側それぞれに流れる3つの川を表現しており、走者が上る階段は、炬火台を源流とする「清流」をイメージしています。



炬火台（イメージ図）

(5) デザイン制作者

I AMAS（情報科学芸術大学院大学）
いりえ けいち
入江 経一教授

4 リレー走者への服飾配布

(1) 配布する服飾

リレー走者には、炬火台をモチーフとしたマークを胸に配したTシャツと、ミナモを配した帽子を配布します。

(2) Tシャツマークデザイン制作者

I AMAS（情報科学芸術大学院大学）^{いりえ} 入江 ^{けいいち} 経一教授



炬火リレーTシャツデザイン



炬火リレー帽子デザイン

5 炬火リレーにおける企業協賛

炬火リレーで使用する車両及びリレー走者が着用するTシャツ・帽子については、下記の企業から提供を受けることが決定しました。

- リレー隊車両 : 三菱自動車グループ
- Tシャツ・帽子 : ミズノ株式会社